２学期スタートにあたって

校長　吉田　知弘

本日、８月 27 日（火）、２学期始業式を迎えました。

38 日間の夏季休業中に誰も大きな事故などに遭うこともなく、今日の始業式には体調不良等で欠席の数名を除き、全員元気な姿で登校してくれたことを心から嬉しく思います。

夏休み中に生徒たちの生活を支え、元気に有意義な時間を過ごさせてくださった各ご家庭に、そして日々本校と生徒たちを温かく見守り励ましてくださっている地域の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

本校では今日から２学期が始まりました。２学期は登校日８３日という１年間で一番長い学期です。この間、合唱祭やロードレースなどの大きな行事があり、また、１組は９月に自然体験教室、１０月に多摩特研マラソン大会。１年生は９月に絵手紙教室、１０月にＴＧＧ体験学習。２年生は９月に校外学習、１１月には連合音楽会と職場体験。３年生は１１月に進路面接に向けたマナー講習を行うなど、今学期も「本物に触れる教育」をたくさん実践していきます。長い２学期だからこそ、じっくり腰を据えて学習に取り組む場面と、行事などへの計画・準備、当日の参加・体験・鑑賞などを通して成長させる場面をたくさん作っていきたいと思います。

まだまだ蒸し暑い日が続き、生徒たちも学校中心の生活リズムを取り戻すまでもう少し、時間がかかるかもしれませんが、今日の始業式の様子からは、２学期も１学期に負けず、生徒は元気に学校生活を過ごし、いろいろな面で成長してくれると期待させてくれるものがありました。

まずは２週間後の１組自然体験教室です。日頃から取り組んでいる調理実習の経験を生かし、奥多摩でも１日目の夕食と２日目の朝食は自分たちで作ることになります。ハイキングや陶芸・木工体験など、様々な取組を通して自分への自信を深めてほしいと願っています。天候にも恵まれ、思い出に残る素晴らしい２日間が過ごせるよう期待しています。

今学期もどうぞよろしくお願いいたします。